防災まちづくり News

第３号
平成 30 年 12 月

編集・発行
御室学区自治連合会（会長：宮垣　清樹）

★『防災まちづくり計画』の策定を進めています！

時下、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、御室自治連合会及び自主防災会の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、御室学区では、平成 28 年度から、**災害が起きる前に防災上の課題箇所を改善**し、**安心・安全に住み続けられる災害に強いまち**を目指すため、京都市との連携のもと、**「防災まちづくり」**に取組んでおり、これまで、まちあるきや意見交換会、アンケート調査などを行ってきました。

今年度は、これまでの取組の中で住民の皆様からいただいたご意見をもとに、**御室学区の将来のあるべきまちの姿や、住民の皆様と一緒に継続して防災まちづくり活動を進めていく上での考え方や具体的な取組等**を取りまとめた**『防災まちづくり計画』**の策定を進めています。

災害に強い安心・安全なまちの実現に向けて、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いします。

平成 30 年度の主な取組

①平成３０年６月２１日～７月２０日

『防災まちづくりに関するアンケート調査』

※①アンケート結果の概要は次のページをご覧ください。

②平成３０年１０月６日

『すまいの耐震ローラー作戦』

③平成３０年１０月２８日

『防災訓練での防災まちづくりコーナー設置』

※②、③の結果の概要は最後のページをご覧ください。

これまでの取組で、住民の皆様からいただいたご意見を反映

『御室学区　防災まちづくり計画』の策定！

★「すまいの耐震ローラー作戦」を実施しました！

１０月６日（土）に、御室２区内の昭和５６年以前に建てられた木造住宅を対象に、地域と行政、専門家が一緒にお宅を訪問し、建物の耐震改修の重要性、耐震改修に対する支援制度等を紹介する『すまいの耐震ローラー作戦』を行いました。

今後も継続して、学区全体に耐震改修の大切さをお伝えしていく予定です。

『すまいの耐震ローラー作戦』の結果報告！

訪問軒数

198軒の方に資料をお配りし、この内**70**軒の方と直接お話をし、耐震改修の重要性をお伝えすることができました！

自宅の耐震に関する主なご意見

- 自分の命を守ることなので、前向きに検討したい。
- 建替え時に耐震診断や耐震補強をしている。
- 市の助成制度があることを知らなかった。
- 工事費用の負担が大きい。
- 借家なので、自分では決められない。

自宅の耐震化に関して不安がある方は、右記の問合せ先までご相談ください！

京都市の各種耐震化支援事業に関する問合せ先

京都市住宅供給公社
京安心すまいセンター
TEL：075-744-1631
開館時間　9：30～17：00
（水曜・祝日・年末年始は休み）

★「防災訓練」の場を利用して、『防災まちづくりコーナー』を設置しました！

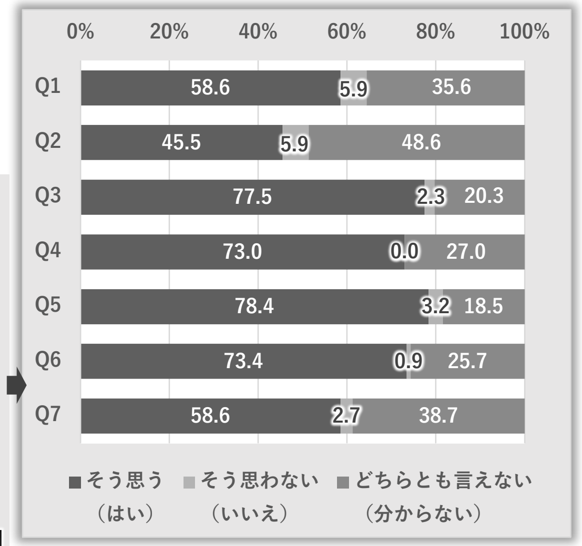
１０月２８日（日）に実施された『防災訓練』で、防災まちづくりの具体的な取組に対する住民の皆様のご意見を伺うため、旗揚げアンケートを実施しました！

旗揚げアンケート結果概要

●回答者数｜全体で約 **222** 名
（１班：43 名、２班：69 名、３班：110 名）

●質問内容｜御室学区として、特に進めていくべきだと思う取組は？

Q1. 建物の耐震改修の重要性を理解してもらうため、１軒１軒を回って説明する
Q2. 自宅の耐震改修など、すぐにでもできる家の改善を進める
Q3. 町内会単位などで実際に街を歩いて、身の回りの危険な箇所などを確認・点検する
Q4. 危険なブロック塀の改善や袋路の緊急避難扉の設置、路地の拡幅整備など、すぐにできる改善を進める
Q5. 災害時の地域の集合場所を安全な場所に見直したり、場所を表示する看板を設置する
Q6. 防災訓練などの場を利用し、住民への周知・啓発活動や勉強会などを行う
Q7 今回の企画に参加して、身近にできる防災まちづくりに取組んでみようと思われましたか？



多くの質問で７～８割程度の方が「そう思う」と回答されましたが、建物の耐震化に関する取組は費用の問題等もあり、「どちらとも言えない」と回答する方が多くなっています！

★「防災まちづくり」に関するアンケート調査結果の報告！

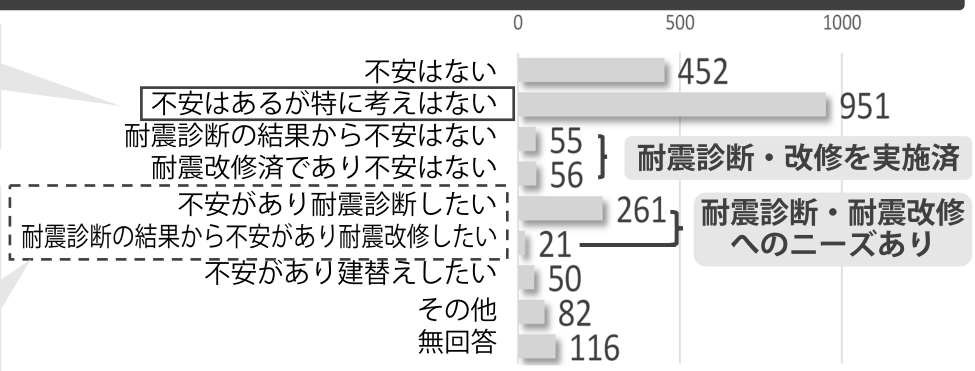
「御室学区の『防災まちづくり』に関するアンケート調査」におきましては、全ての**町内会から計 2,044 人（町内会加入世帯の 76.9%）の方から回答をいただくことができました。**

アンケート調査にご協力いただいた皆様、**誠にありがとうございました。**

Q.あなたがお住まいの家について、地震に対する不安はありますか？

約半数の方が**不安はあるものの、特に対策を考えてはいない**と回答しています。

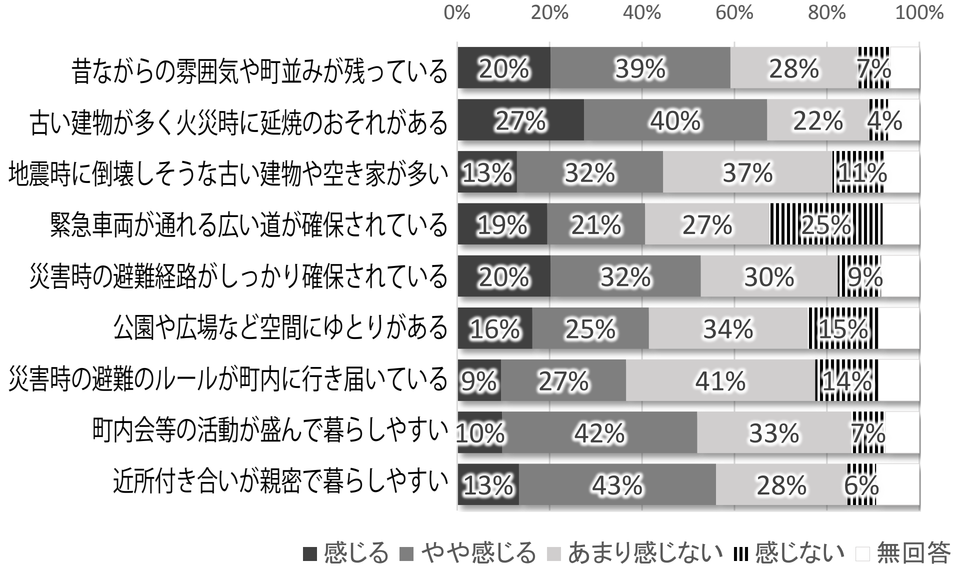
約 15%（282 人）の方が**耐震診断・改修へのニーズ**があり、また、**実際に耐震診断や耐震改修を実施**（111 人）しています！



Q.お住まいのご町内について、どのように感じていますか？

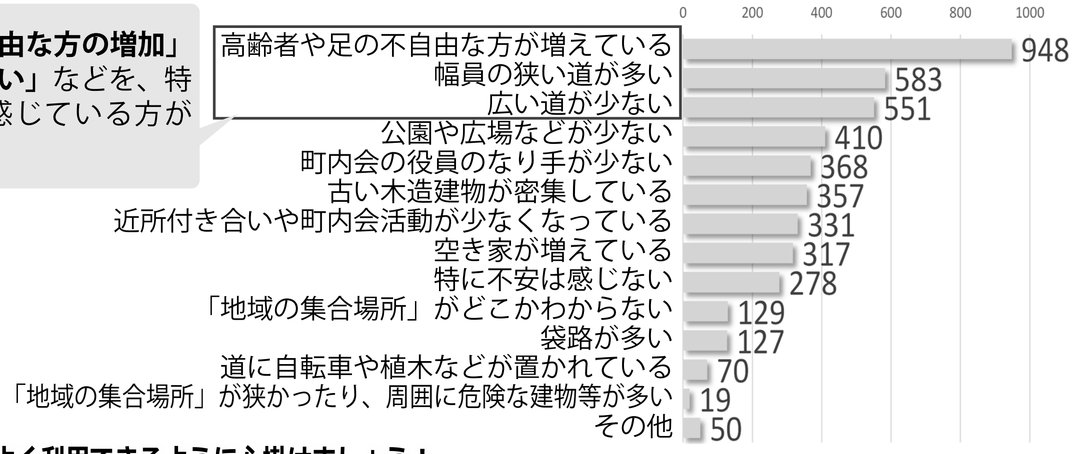
５～６割の方が**「昔ながらの雰囲気や町並みが残っている」、「近所付き合いが親密で暮らしやすい」**などと感じています。

「古い建物が多く、火災時に延焼のおそれがある」、「緊急車両が通れる広い道が確保されていない」、「公園や広場など空間にゆとりがない」、などと感じている方も半数近くいます。



Q.お住まいのご町内に、防災上どのような課題があると思いますか？

「高齢者や足の不自由な方の増加」や「幅の狭い道が多い」などを、特に防災上の課題と感じている方が多くみられます。



（ひにゃんこ）

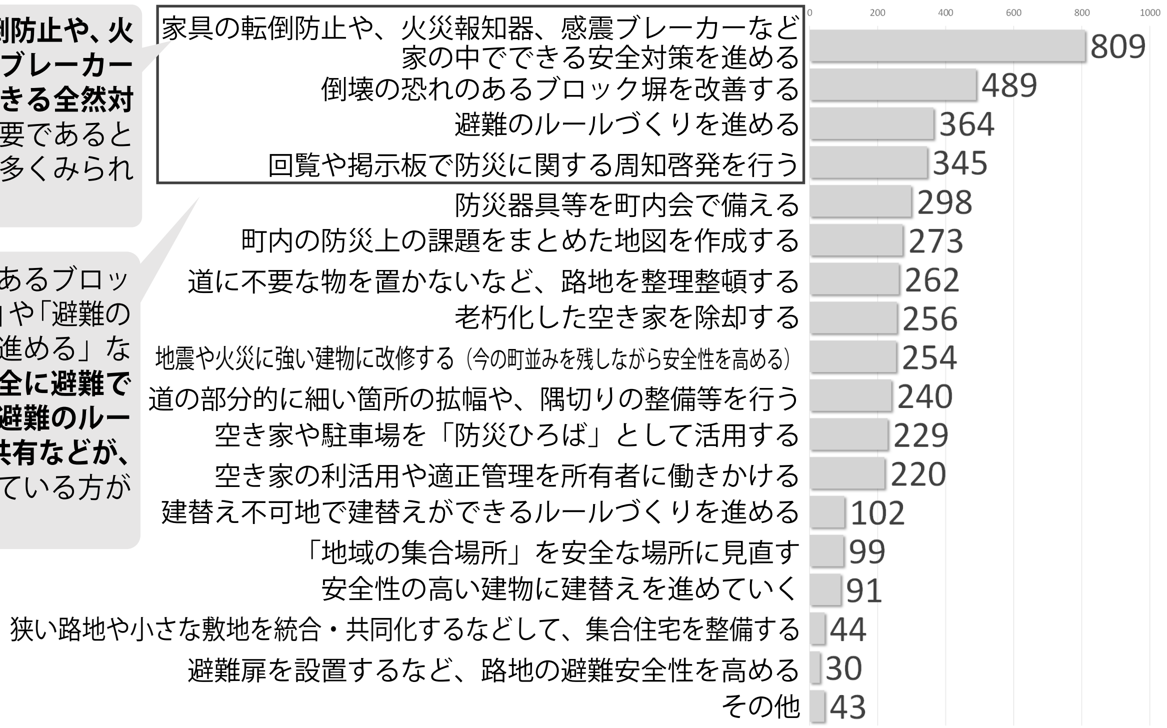
路地はみんなが気持ちよく利用できるように心掛けましょう！

学区全体で、道路上に自転車や植木鉢が置かれていたり、庭木が道路へはみ出している例がみられます。これらは災害時の避難に支障となるおそれがありますので、適正な管理をよろしくお願いします。

Q.お住まいのご町内の防災上の課題を解決するために、何が必要だとお考えですか？

特に**「家具の転倒防止や、火災報知器、感震ブレーカーなど家の中でできる全然対策の実施」**が必要であると感じている方が多くみられます。

「倒壊の恐れのあるブロック塀を改善する」や「避難のルールづくりを進める」など、**みんなが安全に避難できる道の確保や避難のルールづくり、情報共有などが、特に必要**と感じている方が多くみられます。



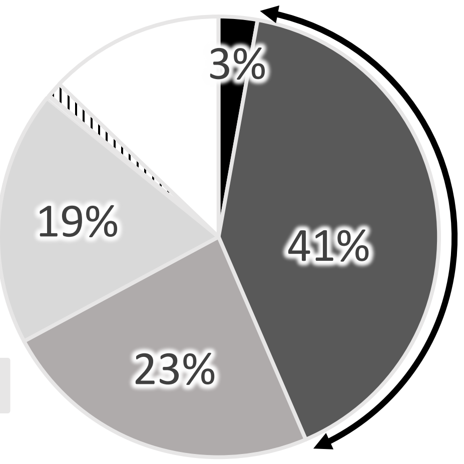
（ふくろうじぃ）

Q.将来、御室学区を災害に強いまちにするには、どのようになると良いと思いますか？

「現状のままでよい」と考えている方は３％と少なく、約４割の方が**「現在の道幅や町並みを活かしながら、まちの安全性が高まっていくまち」**になると良いと考えています。

- 現状のままでよい
- 現在の道幅や町並みを活かしながら、まちの安全性が高まっていくまち
- 建物の建替え等に合わせて、少しずつ道幅が広がっていくまち
- 幅員の広い道や公園などがしっかり整備されたまち
- 狭い敷地などが統合され、マンション等が建ち並ぶまち
- その他
- 無回答

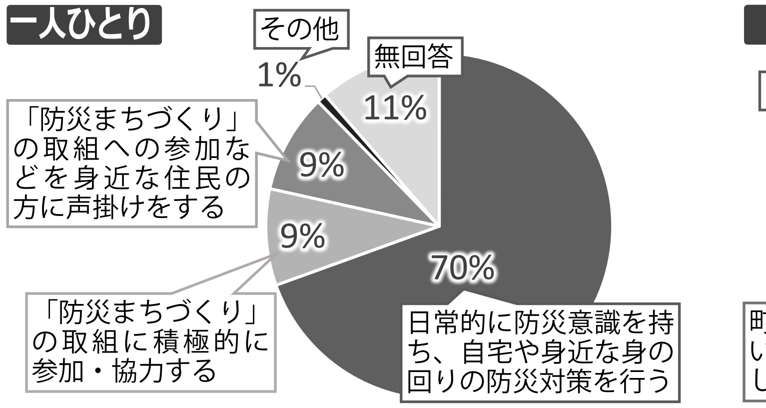
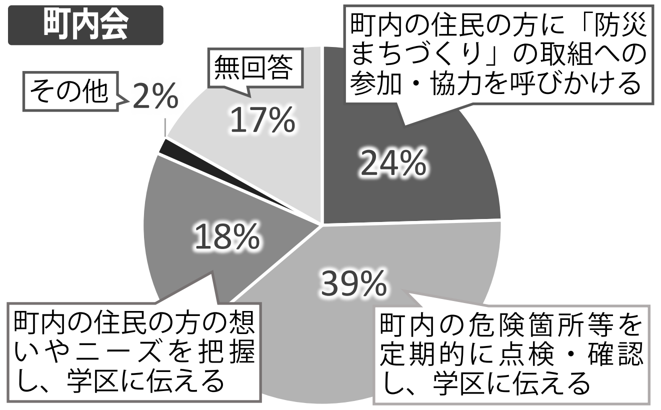
幅の広い道に対するニーズも４割程度みられます。



Q.防災まちづくりの取組に対して、「一人ひとり」「町内会」がどのように関わるのが良いと思いますか？

一人ひとりは、**「日常的に防災意識をもち、自宅や身近な身の回りの防災対策を行う」**、町内会では、**「町内の危険箇所等を定期的に点検・確認し、学区に伝える」**ことが大切と考えています。

一人ひとり



町内会